

小学校五年

チャレンジ 話すこと・聞くこと

この音声問題は、第五学年国語問題の冒頭に放送するものです。

はじめに、小学校五年国語「話すこと・聞くこと」にチャレンジしましょう。  
今から一回だけ、問題を放送します。よく聞いて、あとの問題に答えてください。問題用紙は開かないでください。聞いていて大切だと思うことは、表紙のあいているところにメモをしてもかまいません。

平成小学校の山田さんは、総合的な学習の時間に、地域のために活動している人について調べています。  
今回は、わたしたちの学校の近くにある横井川のゴミ拾いをしてくださっている高木さんにインタビューをすることにしました。あなたも、インタビューに参加しているつもりで聞きましょう。

山田　こんにちは。わたしは平成小学校五年の山田といいます。わたしたちは、総合的な学習の時間に、地域のために活動してくださっている人について調べています。今回は、高木さんが学校の近くにある川のごみ拾いをしていらつしやると聞いたので、インタビューをさせていただくことにしました。よろしくお願いします。

高木　こちらこそ、どうぞよろしくお願いします。

山田　高木さんはどうして、川のごみ拾いを始められたのですか。

高木　はい。わたしは、平成小学校の近くにある横井川にたくさん思い出があります。わたしが子どもの頃は、横井川はとてもきれいで、川に入って魚やカニを捕まえたり、夜にはたくさんさんの蛍を見て楽しんだりしました。ところが、いつの間にかこの川にごみが捨てられるようになりました。これではせっかくの思い出の川が汚れてしまうと思い、ごみ拾いを始めることにしました。

山田　そうですか。横井川は高木さんにとって思い出の川だったんですね。

高木　高木さんは、何年ぐらい前からごみ拾いをしてられますか。

高木　もう三十年ぐらい前からですね。

山田　三十年もですか。わたしたちの生まれるずっと前からごみ拾いを続けていらつしやるんですか。ごみ拾いを続けてこられて、よかったことはどんなことですか。

高木　そうですね、ごみ拾いを始めた頃はわたし一人でしたが、少しずつごみ拾いをする人が増えてきました。今では町全体でクリーン作戦に取り組むようになりました。この前、しばらく見なかった魚の群れが戻ってきたのを見ることができました。また、以前は川底が見えなかったんですが、今は川底の砂や小石が見えるぐらいきれいになってきたようですね。これから、もっときれいになれば、きっと子どもたちもこの川で遊べるようになると思います。

山田　町ぐるみでごみ拾いに取り組むようになって、きれいな川が戻ってきたんですね。  
それでは、別の質問をします。・・・

まだ、インタビューは続きますが、放送はこれで終わりです。  
それでは、問題用紙を開いて始めてください。